

第57回優秀畜産技術者表彰受賞者業績概要（敬称略）

石井利通	<p>三重県畜産研究所 家畜改良繁殖研究課 主幹研究員兼課長 口蹄疫発生後の和牛子牛の生産数減少に対し、胚移植関連技術を軸に、10年間で計1,862個の体内ならびに体外胚を生産し、県内生産者へ供給するなど三重県の和牛子牛の安定的確保に大きく貢献した。また、基礎から応用まで広く顕著な研究業績を上げている。</p>
今井佳積	<p>広島県立総合技術研究所畜産技術センター 育種繁殖研究部 副部長 広島和牛の育種改良手法の開発に関する研究に長年従事し、黒毛和種肥育牛の枝肉重量や牛肉の脂肪の質の改良に関する遺伝子型を解明した。さらに、これらの遺伝子型の判定を種雄牛造成に活用する仕組みを構築し、広島県の種雄牛造成に大きく貢献した。</p>
大崎茂	<p>兵庫県立農林水産技術総合センター畜産技術センター 家畜部 課長 稲発酵粗飼料を活用するため、耕畜連携システムを確立した。また、繁殖和牛産地を支える担い手確保のため、新規参入者に対する飼育管理技術の指導・支援を行い、独立就農させた。さらに、肉用牛繁殖専業農家を育成するため、補助事業や制度資金の活用を支援し規模拡大を図った。</p>
沖村朋子	<p>富山県農林水産総合技術センター畜産研究所 副主幹研究員 「省力化を担保した丈夫な乳用後継牛を育成する高度哺育プログラムの開発」に関する研究において、中心的な役割を果たし、技術確立に多大な貢献をしている。また、その業績は、家畜改良増殖目標の生涯生産性向上に貢献するとともに、県内外の酪農経営における技術水準・生産性の向上に大きく寄与している。</p>
奥村寿章	<p>独立行政法人家畜改良センター 企画調整部 改良技術課 肉質評価チーム 飼養技術係長 消費者に好まれる豚肉の脂肪交雑の水準及び脂肪質の違いが豚肉の客観的食味に影響を及ぼすことを明らかにした。さらに豚肉の脂肪含量及び脂肪酸組成について非破壊で予測する技術を開発し、実用化に成功した。以上の業績により輸入豚肉との差別化につながる国産豚肉の高品質化に大きく貢献した。</p>
北川貴志	<p>滋賀県農政水産部畜産課 黒毛和種牛肥育において、飼料用米や生米ヌカ等の自給飼料の給与技術や牛肉の官能特性への影響等について研究し、多くの成果を論文等に取りまとめた。また、研究成果の周知や技術の現場普及にも取り組み、飼料自給率の向上や飼養技術の向上等に大きく貢献した。</p>
絹川将史	<p>一般社団法人家畜改良事業団 家畜改良技術研究所 技術開発部 開発第一課 専門役 種雄牛の繁殖性向上に関する研究に従事し、低受胎ゲノムマーカー（顕著に低い受胎率の種雄牛摘発が可能）、エリート精子検査法（種雄牛の受胎性推定が可能）、卵黄フリー希釈液（ウイルスの懸念がない人工授精用希釈液）等を開発・実用化し、牛の生産性向上に大きく貢献した。</p>
坂部吉彦	<p>岡山県農林水産総合センター畜産研究所 改良技術研究室 専門研究員 岡山県庁に入庁してから現在に至るまで、牛の繁殖に関連する業務及び試験研究を行っている。特に、乳用牛からの受精卵の採卵及び譲渡事業に長く関わり、ホルスタイン種からの効率的な採卵方法の検討や、超音波誘導経膈採卵による体外受精卵の作出方法の確立に大きく貢献した。</p>
森美幸	<p>福岡県農林業総合試験場畜産部 研究員 栄養膜細胞を利用した妊娠シグナル補強による性判別胚移植及び長期不受胎牛の人工授精における受胎率向上技術、胚移植におけるP糖タンパク質増強による受胎率向上効果の実証に取り組み、福岡県における胚移植技術の普及に大きく貢献した。</p>
渡部真理安	<p>山形県農業総合研究センター畜産研究所 飼養管理部 主任専門研究員 乳用牛のゲノミック評価を取り入れた乳用牛改良スピードアップを図るため OPU 技術及び体外受精卵培養に係る山形県の畜産バイオテクノロジーの発展に寄与。加えて、OPU 技術普及に向けた新たな地域的取り組みが開始されるなど、山形県の乳用牛改良に大きく貢献している。</p>

注：所属及び役職は、審査・選考時点のものを記載しております。